

技術の名称

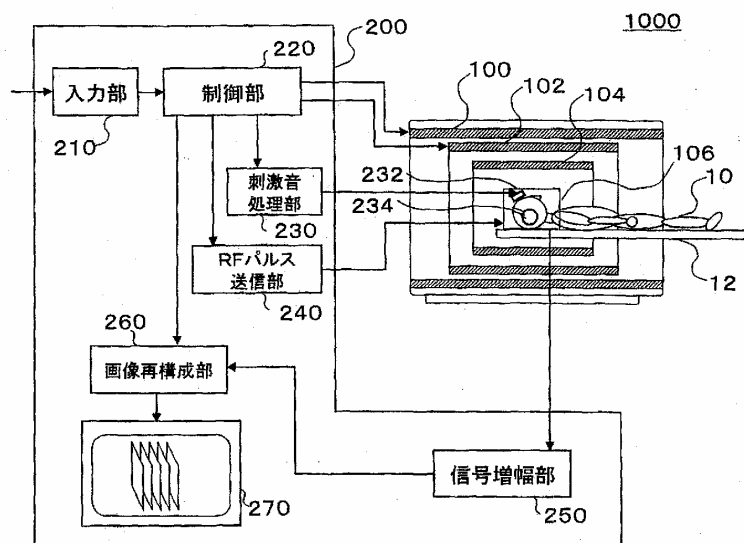
## 核磁気共鳴画像化装置 (MRI)

## 適用分野

臨床画像診断

- 目的 大きな騒音が発生するMRI撮像中であっても、被験者の負担になる騒音を低減しつつ正確に被験者に刺激音を提示する。
- 効果 本発明によれば、大きな騒音が発生するMRI撮像中であっても、被験者に対して違和感を与えることなく音声による刺激音を提示することが可能となり、被験者の負担を軽減することができる。
- 技術概要 被験者に刺激音を与えてその刺激音に応答して変換する被験者の脳の断層画像を撮影するMRIであって、被験者には刺激音を骨伝導スピーカによって提示するとともに、その刺激音の大きさは周波数帯域ごとに調整する機能を備えている。

## ■ 特記事項,図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 磁気共鳴画像化装置  
登録番号 :  
出願番号 : 特願2006-098586 出願日 : 平成18年3月31日  
公開番号 :
- 実施実績 ○有、無 ■ 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム  
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2  
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp